

専門部会の経緯

平成 30 年

10 月 19 日 JR 東海が「原則として静岡県内に湧出するトンネル湧水の全量を大井川に流す措置を実施する」ことを表明。

○ 11 月 21 日 静岡県中央新幹線環境保全連絡会議

- ・ 静岡県が水の戻し方やリスク管理方法等を議論するための専門部会（地質構造・水資源、生物多様性）を設置。

○ 12 月 28 日 静岡県が JR 東海に質問書を送付

- ・ 静岡県中央新幹線環境保全連絡会議委員及び大井川利水関係協議会からの質問等全 63 項目を JR 東海に送付

（以降、専門部会での議論が現在も継続中）

平成 31 年・令和元年

○ 1 月 11 日 JR 東海が静岡県に質問書に対する回答書を送付

○ 1 月 25 日 専門部会（地質構造・水資源）、1 月 30 日 専門部会（生物多様性）

○ 3 月 13 日 専門部会（合同会議）、専門部会（地質構造・水資源）

- ・ JR 東海がリスクに関する基本認識・対処方針を提示。

○ 3 月 26 日 専門部会（生物多様性）

○ 4 月 9 日 専門部会（生物多様性）

○ 4 月 15 日 専門部会（地質構造・水資源）

○ 4 月 22 日 専門部会（生物多様性）、4 月 26 日 専門部会（地質構造・水資源）

- ・ 委員等の質問書（全 63 項目）に対する JR 東海の回答が一通り終了。

○ 6 月 6 日 静岡県が JR 東海に、専門部会委員の意見等を整理した中間意見書を提示

○ 7 月 12 日 JR 東海が静岡県に、中間意見書に対する回答案を送付

○ 7 月 30 日 静岡県が JR 東海に、回答案に対する専門部会委員等の質問を送付

○ 8 月 20 日～21 日 JR 東海と専門部会委員との意見交換会

8 月 29 日 JR 東海と大井川利水関係協議会との意見交換会

- ・ 中間意見書に対する回答案について意見交換を行う。

・ 8 月 20 日 JR 東海が「先進坑がつながるまでの工事期間中、山梨、長野両県へトンネル湧水が流出し、一定期間は水が戻せない」と表明。

○ 9 月 6 日 JR 東海が静岡県に、中間意見書に対する回答書を送付

- 9月12日～13日 専門部会（合同会議）
 - ・ 中間意見書に対する回答について議論。
 - 9月30日 静岡県がJR東海に、「引き続き対話を要する事項」（47項目）を送付
（以降、JR東海と静岡県との間で47項目に対する見解についてのやりとりが継続中）
 - 10月4日 JR東海と専門部会委員等との意見交換会
 - ・ 工事時間中の県境でのトンネル湧水の他県側への流出に関して、トンネルの専門家を交えてトンネル工法について意見交換
 - 10月18日 JR東海が静岡県に「引き続き対話を要する事項」に対する見解（その1）を送付
 - ・ 全47項目中21項目（地質構造・水資源18項目、生物多様性3項目）
 - 10月25日 「引き続き対話を要する事項」に対する見解（その1）に対する意見交換
 - ・ 静岡県とJR東海で資料修正について意見交換
 - 11月11日 JR東海が静岡県に「引き続き対話を要する事項」に対する見解（その2）を送付
 - ・ 全47項目中16項目（地質構造・水資源10項目、生物多様性6項目）
 - 11月26日 「引き続き対話を要する事項」に対する見解（その2）に対する意見戻し
 - ・ 静岡県から資料修正を提示
 - 12月23日 JR東海が静岡県に「引き続き対話を要する事項」に対する見解（その3）を送付
 - ・ 全47項目中11項目（地質構造・水資源2項目、生物多様性9項目）
 - 12月27日 静岡県がJR東海に「引き続き対話を要する事項」に対する見解（その3）への意見を送付
- 令和2年
- 1月24日 JR東海が静岡県に「引き続き対話を要する事項」に対する再見解（その1、その2）を送付
 - 2月10日 専門部会（地質構造・水資源）
 - ・ 「引き続き対話を要する事項」に対するJR東海の見解の一部について議論
 - 2月28日 JR東海が静岡県に「引き続き対話を要する事項」に対する再見解（その3）を送付
 - 3月6日 静岡県がJR東海に「引き続き対話を要する事項」に対する再見解への意見を送付